

「ニコパカード」のご利用で 市内間移動のバス運賃が一律200円に

神姫バス(株)が発行する交通系ICカード「ニコパカード」の利用で、市内間移動のバス運賃が原則として一律200円(190円以下の区間は、正規運賃)となります。

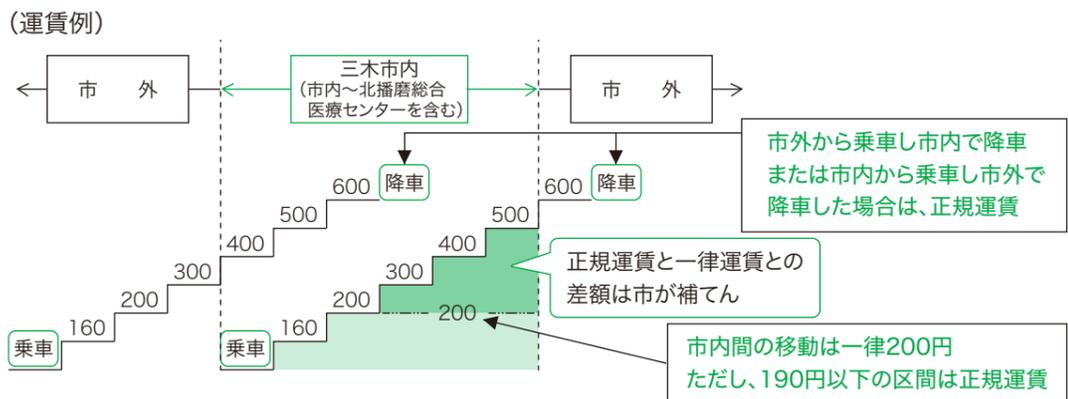
また、北播磨総合医療センターへのバス利用についても、ニコパカードの利用で一律200円となります。

ぜひ、ご利用ください。

▼申込窓口

- ・市役所 2階交通政策課
- ・吉川支所 地域振興課
- ・北播磨総合医療センター総合窓口
- ・神姫バスグループ窓口(神姫バス三木営業所、神姫ゾーンバス西神営業所、イオンモール神戸北案内所、神戸三宮バスターミナルなど)

問・申請(市)交通政策課



事業者の皆様へ 入札参加資格審査申請(指名願)の受付

市では、令和2・3年度に発注する「建設工事」、「測量・建設コンサルタント等業務」の受注を希望する事業者の入札参加資格審査申請(指名願)を受け付けます。

同時に、「物品調達・役務提供等」の受注を希望する事業者で、昨年申請していなかった業者の追加受付(令和2年度分)も行います。

- ▼受付期間 1月7日(火)～27日(月)
- ▼申請の有効期間
・建設工事、測量・建設コンサル
・タレント等業務…令和2・3年度
中(2年間)
- ・物品調達・役務提供等…令和2
年度中(1年間)

- ▼申請方法 市ホームページまたは市役所4階財政課で配布(要実費負担)する申請書に必要事項を記入し、持参または郵送してください。
- 詳しくは市ホームページをご覧ください。

問(市)財政課 契約係

市内で創業を希望する皆様へ 起業ビジネスプラン塾を開催

- ▼日時 1月18日・25日、2月1日・8日・29日 午後1時30分～4時30分(土曜 全5回)
- ▼場所 サンライフ三木 2階研修室
- ▼対象者 創業を考えている方、創業後5年未満の方、経営を学びたい方
- ▼内容 経営、財務、販路開拓、人材育成、ビジネスプランの作り方・プレゼンテーション
- ▼講師 中小企業支援コーディネーター(中小企業診断士)
- ▼受講料 1,000円
- ▼申込方法 電話または窓口で申し込んでください。

- ▼定員 先着20名
- ▼受講者のメリット
・市内で会社を設立する場合の登録免許税軽減
・日本政策金融公庫「新創業融資制度」の自己資金要件などの緩和

問・申込 中小企業サポートセンター
☎70-8008



目 権

196

「差別をなくする輪をひろげよう」市民運動作品 作文 PTA・一般の部 優秀賞

豊地小学校PTA 井上 歩

私が高校時代に体験した出来事が、今の自分の職業や考え方に、多くの影響を与えたことについて、お話ししたいと思います。

私が高校二年生の時、車いすに乗った男子生徒が一つの学年として復学してきました。その生徒は、在学時の部活動の事故で脊髄を損傷し、リハビリを受け、高校に戻って来られました。その生徒が復学するにあたり、リハビリを受けた施設の職員の方が、在校生向けに「脊髄損傷者とは」という内容で講義をされました。

私たちには、「排尿、排便の感覚がない。失敗することもある。足が動かないだけでなく、下半身の感覚がなく、火傷やとこずれに注意が必要」と、そして先生方には、「生徒さん達に全て任せれば大丈夫です」とアドバイスをされていたのを記憶しています。

私は高校まで周囲に障がいのある方がいなかったため、その生徒が復学した時は、大変興味深く見たように思います。高校生なのに車で通学したり、体育祭では初めて目にする陸上競技用の車いすに乗って走ったりしていました。階の異なる教室移動は全て生徒が車いすごと介助をしていました。また、校外活動で下着が汚れた時には、生徒が背中を向け円陣を組み、その円陣内で着替えをすることもありました。そういった出来事が生徒や先生方には当たり前の日常でした。そしてその生徒を知り、思い、その生徒の為にできることを自然に行う、そんな空気感のある学校生活を私は体験しました。

施設の職員の方が「生徒に任せればよい」と言った言葉通り、「障がいがある」ではなく「同じ一人の高校生」として全校生徒が接し

ていましたし、その生徒から多くを知り、学ぶことができたと思います。

私はと言いますと、その体験を通じて、益々「福祉」という分野を知りたいと思います。進学後はその生徒が受けた「社会復帰するためのリハビリ」を行っている社会福祉事業団に就職しました。採用後十三年目にして、目標としていた施設へと異動、社会復帰をめざす利用者の支援に携わることができました。その施設では、中途障がいのある方が入所し、リハビリや訓練プログラムを受け、社会復帰されていきます。

職員として障がいのある方と関わり、約二十年。「障がい」に促されず、一人の人として関わることで、お互いを知り心を通い合わせられることを知りました。また、共に苦しみ、喜び、一緒に涙を流

すこともありました。その方たちと出会い、その方の人生の一部分に関わらせていただく仕事の重みを日々感じる中で、この仕事に就くきっかけをくれた高校生の時の体験をよく思い返します。

これらの仕事や体験を通して、障がいのある方が、障がいのため困難に陥っても、前に進むという心の強さを知り、私は、自分の生き方に影響を受けたのです。それは、「一瞬一瞬を大切に、今できることを精一杯取り組む。仲間を大切に、常に生きていくことに感謝する」ということです。私自身はもとより、そのような生き方ができるよう子どもたちにも、伝え教えていきたいと思っています。そして、強さと温かい心を持ち、相手の立場を考えられる人に育ってほしいと思います。